

交通ちば



VOL. 402 平成23年11月1日

千葉県交通安全活動推進センター
(財)千葉県交通安全協会連合会



声援を受け一本橋走行

「第2回千葉県交通安全高齢者自転車大会」を開催



皆の注目を浴びて緊張のスタート



真剣なまなざしで学科テストに臨む選手

気軽に乗れる自転車にも交通ルールとマナーがあります。あなたの運転は大丈夫ですか？多発傾向にある高齢者の自転車事故を防ごうと、県交通安全協会連合会は10月24日、県・県警察・千葉市交通安全協会・県自転車軽自動車商協同組合の後援を得て、「第2回千葉県交通安全高齢者自転車大会」を千葉市中央区松ヶ丘の千葉第一自動車教習所で開催しました。

今回は千葉市内5安協（千葉中央・千葉東・千葉西・千葉南・千葉北）に習志野、船橋、船橋東安協も加わり52人（補欠も含む）の選手が競技に取り組みました。参加者の平均年齢は70歳、65歳から最高齢は78歳まで、笑いあり、溜息ありの大会でした。

団体の部上位入賞チームと個人入賞者は次のとおりです。

優勝「Aチーム」（習志野安協）、準優勝「南チーム」、3位「誉チーム」（共に千葉南安協）。

個人▽優勝▽山岡稔（千葉西安協） 準優勝▽榊 信（千葉北安協） 3位▽加藤晃（千葉南安協） 4位▽吉種勤（習志野安協） 5位▽石橋誠（千葉東安協） 6位▽小川剛（千葉南安協）。

（敬称略）

臨時理事会・評議員会を開催

県安協
連合会

公益財団法人への移行を決議

財団法人千葉県交通安全協会連合会は10月3日、千葉市美浜区のヴェルシオオーネ若潮で、臨時理事会・評議員会を開催しました。

開催の目的は、連合会が公益財団法人に移行するための認定申請が目前に迫ったことで、関係規程等の最終決議を行うため

のものです。昭和26年9月に財団法人の認可を得てから今年で60周年という節目を迎える連合会ですが、この間、県内の交通事故防止のため一貫して交通安全の普及高揚に努めてきました。人命尊重という基本理念をいま一度確認し、社会的に公益

性をいっそう高め、円滑な活動と実効ある交通事故防止活動を行うための認定申請です。理事・評議員の総意を得た上で、今後スムーズな事務手続きが行われれば、次年度の初めに移行可能となると見込まれています。

併せて、評議員の補充選任と理事の選任についても審議が行われ、各議題とも慎重な審議が行われ決議されました。会には、この秋の異動で新しく県警本部交通部長に就任した村上徹氏も出席し、日ごろの活動に謝意を表しました。



あいさつをする村上
徹県警本部交通部長



代表あいさつをする
吉成儀県連合会長



慎重な審議が行われ決議された

各地の活動ニュース (秋の全国交通安全運動活動報告から)



船橋東 津田沼教習所で開催されたフェスタで啓発物を配る。



千葉北 こてはし温水プール会議室で功労者等の表彰式を行う。



千葉中央 千葉中央公園で啓発物を配り交通安全運動を周知する。



鎌ヶ谷 チラシを活用し高齢者に安全な歩行等呼びかける。



八千代 八千代松蔭学園で中学生と高齢者が自転車教室で学ぶ。



千葉東 高齢者対象のコンサート会場で交通安全を呼びかける。



市川 交通安全フェスタ会場で啓発物を配る。



船橋 市役所入口交差点で啓発物を配り安全運転を訴える。



千葉西 QVC千葉マリンフィールドで啓発物を配る。

各地の活動ニュース（秋の全国交通安全運動活動報告から）

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会の交通安全ボランティア活動に活用されています。



一宮 宮原交差点で名産の梨を配り事故ナシの啓発を行う。



成田 人気の犬カイ君がチビッコと共に記念撮影をする。



浦安 老人福祉センターで高齢者の集いを開き啓発する。



いすみ 大原中学校生徒も参加し大原交差点で街頭啓発を行う。



印西 大型商業施設で白井市特産の梨を配り啓発する。



松戸東 六実駅で啓発物を配り交通事故防止を呼びかける。



市原 市役所ロビーで出勤式を行い交通安全活動を開始する。



多古町 出勤式後、多古道の駅周辺で街頭活動を行う。



流山 シニア自転車教室を開催し安全な走行を体験し学ぶ。



君津 ジョイフル本田君津店で啓発物を配り無事故を訴える。



東金 大網白里町の交差点で大網高校生が栽培した梨を配る。



我孫子 出勤式後、恵愛保育園児の鼓笛隊のドリル演奏を聞く。



富津 吉野小学校周辺で開催の市防災訓練で交通整理を行う。



茂原 市内緑ヶ丘入口交差点で学期始めの保護誘導を行う。



四街道 イトーヨカドーの広場で幼稚園児が安全宣言をする。

成田交通安全協会



黒田長成 会長

黒田会長の話

「成田空港と成田山新勝寺という新旧の代表ともいえるものがあり、文化的特徴です。管内には成田市、富里市、栄町があって人口は約19万6千人です。国道51号線が東西に走り、空港に通じる道が主要幹線道路となっています。交通事故は他と同じように減少傾向にありますが気を緩めることなく取り組んでいきます。」

最近特に力を入れていることは飲酒運転の追放で、ハンドルキーパー運動の浸透と徹底を図るために、飲食店等への参加協力を呼びかけています。問題は自転車と高齢者が関わる交通事故の防止で、重点的に活動を進めていきます。」

また、成田山や宗吾霊堂への参詣者、祭礼、花火大会、スポーツ大会などへの参集者の交通誘導・整理を行っています。人ごみの中に立ち、その姿を見せて活動をし、理解してもらおうこと



左から 杉野 貫事務局長、石井多美枝さん、郡 美紀さん

が大切だと思います。」

交通事故防止活動の第一線に立つて活動してくれている交通指導員が成田安協の財産であり誇りです。皆が円滑に活動を進め、効果が目に見えて表われてくるよう支えていくのが私の役目だと思っています。」

杉野事務局長の話

「窓口が肝心、です。来訪者は、窓口の笑顔と親切な対応があれば心が和みます。それほど第一印象というのは大事です。会員の増強という役目を担う場所ですので肝に銘じています。それと、熱意を持ってやるということが大事だと思っています。皆の理解と協力があってこそその交通安全協会ですから。交通事故防止に関しては持続性が必要であり、粘り強く、繰り返ししていくことが肝心なのではないかと思っています。」

『自転車事故を無くすために』
遺族・被害者、マナーアップ隊の手記
交通事故にあって思うこと
80歳 女性

私は、自転車を利用して毎週1回定期的に通院しています。先日、通院のため自宅近くの道路を自転車に乗って走っていると前のコンビニエンスストアの駐車場から出てきた車とぶつかってしまい、自転車と一緒に道路に転倒して救急車で近くの病院に運ばれてしまいました。

詳しく話しますと、相手が、私の10メートル位前の駐車場出口から車の前の方を道路に突き出して止まっていたのですが、見通しが良い場所でしたので、当然車の方が私を見つけて止まってくれるものとそのままのスピードで走っていったのです。するとその車は突然私の方に出てきて自転車の前の部分とぶつかってしまっただけです。私はぶつかった衝撃で自転車もろとも道路上に転倒してしまい、一瞬何が起きたのか頭の中が真っ白になってしまい、何が何だか分からず、一人では立ち上がることもできませんでした。そして、手や足がとても痛み、見ると出血して洋服が血で染まっていました。救急車で運ばれた病院の診断では、骨折はな

かったものの打撲や擦過傷の怪我を負ってしまったのです。(中略)

私は昭和一桁生まれで、60年以上も自転車に乗って買い物に行ったり、病院に行ったり重宝に使用していました。今回の事故の数年前には、大型トラックにおおられた弾みで自転車ごと転んでしまい、このときは「たまたま」と思っていたのですが、今回の事故があったことで、思い返してみると、今では、「若い頃だったらきっと避けることができたのでは？」と思うようになったのです。

家族からは事故を起こす前から「高齢で運動神経が鈍くなっているんだから自転車はあぶないよ」と言われておりまして。私にとつての自転車は、行動半径が広がり、いろいろな体験ができて、楽しくて健康によい乗り物でした。しかし今回の事故で、「また事故にあうことになれば命も危ない。」と思うようになり、もう自転車に乗ることは諦めることにしたのです。

自転車は免許もいらず、子供の頃から乗り出すことができ、大変便利な乗り物です。小さな頃から自転車の交通ルールやマナーを教えることにより、事故は起きないのではないかと思います。

(財)千葉県交通安全協会連合会発行
『自転車事故を無くすために』より

交通指導員9月の活動状況

○駐車対策	70回	392人	○チャイルドシート・シートベルトの着用指導	66回	480人
○安全教室			・街頭監視	1280回	7727人
・児童	29回	71人	・街頭広報	329回	774人
○一般・高齢者	60回	203人	○各種イベント	172回	1432人
○自転車教室	132回	321人	○会議・研修会等		
○祭礼警戒	40回	240人	□出動回数総数	102回	619人
○街頭活動			□出動人員総数	2280回	2259人